

令和元年 6 月 28 日 13:10～17:00
カキのノロウイルスに係る平常時の水準調査委員会（第 1 回）

カキのノロウイルスに係る平常時 の水準調査（案）

農林水産省消費・安全局
食品安全政策課

1

1. 国内の現状と課題 （これまでの整理）



2

カキのノロウイルス（NoV）対策に関する情報交換会①

- NoVによる食中毒は、国内で報告された食中毒事件の2割及び食中毒患者の5割を占めている（平成29年）
- NoV食中毒の発生防止に向けて、平成30年12月17日（月）、主要生産県(11)及び研究者等が集まり、カキのNoVに関する研究や対策など国内外の現状と課題について情報を共有した



（農林水産省HP（http://www.maff.go.jp/j/study/oysters_nov/nov_jouhou.html））

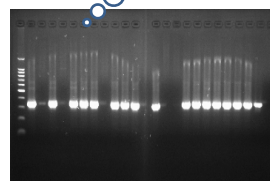
3

カキのノロウイルス（NoV）対策に関する情報交換会②

1. 共有された認識

- ✓ NoVに汚染されていない清浄な海域での養殖が対策の基本
- ✓ そのための海域や、そこで養殖されたカキのNoV清浄性について、目標を設定し、（定量的な）管理を検討することが重要
- ✓ 製品検査型の管理から、生産工程（海域）型の管理に移行が重要
（国際的にも、管理された海域で二枚貝の養殖が行われている。）

最終製品の検査も
大切だけど...



（ノロウイルスの遺伝子検査の結果判定）

4

カキのノロウイルス（NoV）対策に関する情報交換会③

2. 今後の課題

- ✓ カキ中のNoVについて平常時の水準を明らかにするため、より信頼性の高い検査結果を得るための体制（カキのサンプリング法、検査法、検査精度管理等）を検討する必要がある
- ✓ 平常時の水準を明らかにし、管理及びその効果を検証する必要がある（欧州13カ国は2016年より、平常時の水準について調査を実施）



（カキの水揚げ）

5

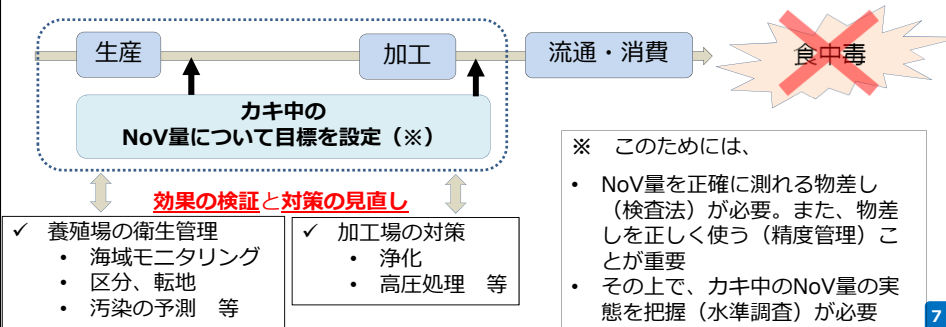
2. 平常時の水準調査



6

カキ中のノロウイルスに係る平常時の水準調査の目的

- NoVによる健康被害を未然に防止するため、カキのNoV対策をより効果的に実施する
 - ✓ NoVについて定量的な目標を設定した上で、衛生管理対策の効果を評価し、見直していく必要
- 国内のNoV対策を諸外国の水準に整合させる
 - ✓ 欧州における同様の取組を見据え、国内においても同等の管理を実施するために必要なデータと体制を整備する必要



調査の必要性（今後、想定されるカキ産業への影響について①）

- NoVについて定量的な目標を設定し、必要な対策が国内で検討できない場合、以下の影響が想定される
- ✓ 食中毒が発生した際、カキのNoV対策が不十分であることによるカキ産業への不信
- ✓ 消費者の信用を失うことによるカキの消費への影響
- ✓ NoV対策が講じられている輸入カキとの競争？



NoV対策をしているカキがいいよね。🍤🍤

調査の必要性（今後、想定されるカキ産業への影響について②）

- 欧州のNoV対策と同等水準の取組できない場合、諸外国への輸出に影響する可能性

輸出には輸出先国における衛生管理基準への適合、衛生証明書の添付など輸出先国の要件に対応することが必要。
今後は、生産段階でどのようにNoVを管理しているかについて要件に追加される可能性



3. 水準調査の実施体制、等



カキ中のノロウイルスに係る平常時の水準調査の実施体制

【調査委員会】

- ・ 調査計画の検討・作成
- ・ 調査の進行管理
- ・ 結果の解析等
- ・ 衛生管理の検証・見直し



調査委員会の構成(案)

- 道府県:水産・衛生部局
- 関係省庁:農林水産省、水産庁、厚生労働省、
食品安全委員会
- 有識者:国立医薬品食品衛生研究所、国立保健医療科学院、
(公社)日本食品衛生協会
- 分析機関:(一財)東京顕微鏡院、(一財)生物科学安全研究所、
(一財)海事検定協会

11

カキ中のノロウイルスに係る平常時の水準調査の実施体制

【調査計画の検討・作成】

- ・ 道府県(水産・衛生部局)と農林水産省は、調査計画について、団体、生産者との調整を行う
- ・ 調整結果を踏まえ、計画を修正する

水準調査の目的は、
産地のランク付けで
はありません

調査期間中に、養
殖場から採取した
カキを分析機関に
送付してください

水準調査の結果は
どのように使うので
すか？

カキは、有償です
か、無償ですか？



12

カキ中のノロウイルスに係る平常時の水準調査の実施体制

【カキの採取及び検査項目】

- 道府県又は事業者（生産者）は、カキを分析機関に着払いで送付（道府県が事業者を支援）
- 分析機関は、カキ中のNoV及び細菌を検査（NoV量、細菌数（生菌数）、E. coli最確数、腸炎ビブリオ最確数）

精度管理が行われた分析法を用いて、科学的に信頼できる検査結果を出します



カキの提供

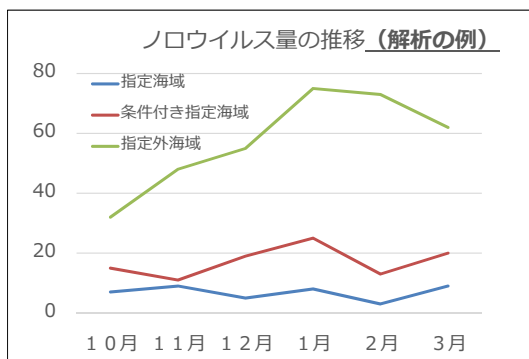


13

調査結果の解析方針（案）

【国産カキのNoV保有状況の水準を定量的に把握】

- 中腸腺1gあたりのNoV量の平均値、バラつき等を、全体、海域ごと、月ごとに解析
（公表する内容は調査委員会で決定）
- 調査海域の環境及び実施する衛生対策とカキ中のNoV量の関係の検討



海域ごとにNoVの保有に差があるね。この海域区分の仕方は有用かもしれない



14

調査結果の活用

I. 平常時の水準調査

- 管理するための目標水準を検討

II. 衛生管理の実施

- 海域ごとの特性を把握したうえで、NoVの管理に適した海域の区分
- 海域の環境に影響する要因（降水量の増加等）のモニタリング 等

III. 実施した衛生管理の効果検証

- 衛生管理の結果、「I」で調査した水準に比べて、生産されたカキのNoV量に変化はあるか（適切なNoV管理が実施できているか）

15

まとめ

- NoVに汚染されていない清浄な海域での養殖が対策の基本
- 平常時の国産カキにおけるノロウイルスの汚染水準を明らかにすることにより、食中毒の流行など異常時における汚染水準の上昇が検出可能となる
- また、生産海域における衛生管理対策の必要性の有無を明確にできるほか、実施した対策の効果検証が可能となり、生産海域における科学的・客観的な生産衛生管理対策の推進が期待される

ご静聴ありがとうございました